大総務第 108 号
令和６年２月６日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長　堀野　桂子　様

大阪市長　横山　英幸
（担当：総務局行政部総務課法人グループ）

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成 25 年大阪市条例第 10 号）第７条第１項に規定する外郭団体である公益財団法人大阪国際平和センターによる令和５年度及び中期目標の期間を通じた経営評価（対象事業活動の実績）の結果並びに同条第４項に規定する当該経営評価の審査の結果について、同項の規定に基づき、別紙により諮問します。

【対象事業活動の実績に関する評価】

別紙
《様式1》

令和5年度　事業経営評価

団体名	（公財）大阪国際平和センター	所管所属名	教育委員会事務局

中期目標

⑴ 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

特定の歴史観や考え方に偏らず中立的(中立性の確保)に、事業を実施していくとともに、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を行い、もって大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むこと。

⑵ 中期目標期間

令和２年４月１日から令和７年３月31日までの５年間

⑶ 中期目標の期間終了時において、⑴の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態

中期目標期間、大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会が提供されている状態

当該事業年度の評価

外郭団体の自己評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症に移行したことに伴い、様々な行動制限が撤廃又は緩和され、人流が活発化したことから、当館の来館者総数や小中学校の来館率が大きく伸びることとなった。世界的規模で戦争・紛争が多発し、人々の平和に対する意識も高まっている今日、当館の果たす役割は大きく、今年度も魅力ある平和祈念事業や特別展の実施に取り組むとともに、小中学校等に対しては、そのニーズを把握し、より良い平和学習の機会を提供することで、各指標を全てクリアすることができ、年度目標は達成できたと評価している。

最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
ア ア：順調 イ：遅れあり ウ：計画の見直し必要	新型コロナウイルスの影響が軽微となり、様々な制約が撤廃又は緩和され、世界的規模で平和への意識が高まっている今日、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくための取組を着実に進めていくことが求められている。引き続き、魅力ある企画事業を実施するとともに、小中学校に対する効果的な平和学習の機会の提供に努めていく。また、戦争体験者の話を直接聴くことが年々難しくなってきており、証言アーカイブ事業をより進め、広く公表できるよう取り組んでいく。

市の評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価

令和５年５月の新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行に伴い、様々な行動制限が撤廃又は緩和され、人流が活発化したことや、魅力ある平和祈念事業や特別展の取組などにより、来館者数などの伸びにつながっているものと考えられる。全ての年度目標を達成し、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会を提供することに大きく貢献したことは評価できる。

助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期目標の期間を通じた評価	外郭団体の自己評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価
		中期計画期間の初年度から新型コロナウイルス感染症の流行による当館の運営への影響が甚大で、不確定要素も大きく、毎年計画を改訂せざるを得なくなったが、そのような状況下においても、各年度に定めた指標・目標をクリアできたことは、職員一丸となって戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくための取組を着実に進めた結果であると評価している。引き続き小中学校の来館促進を図り、各指標の最終目標達成に向けて努力していく。
	市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価
		新型コロナウイルス感染症の流行という予期し難い原因により、当初の中期計画の目標値を初年度から見直さざるを得ない状況となったものの、全ての指標の目標値を全ての年度において達成したことは評価できる。最終目標達成に向けて、努力していただきたい。
		助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－1　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

大阪市小学校校長会や中学校校長会等において平和学習の場としてピースおおさかの利用を呼びかけるとともに、来館率の低い区の小学校校長会などに働きかけを行っていくことにより、小中学校の来館率を高めていく。

年度計画達成状況

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容
最も来館者数の多い区分である小中学生の来館を更に促進するため、小中学校校長会などの学校関係者の集まりにおいてＰＲを行い、来館率を向上させる。 また、教員等を対象とした平和・人権に関する研修会を誘致することで、当館の知名度を高め、小中学校の来館につなげていく。	小中学校の校長会など合計30回、学校関係者に「ピースおおさか」のＰＲを行い、来館誘致に努めた。 また、将来的な小中学校の来館につながるよう延べ５日間の教員初任者研修を誘致した。

指標Ⅰ　大阪市立小学校全校に対する来館率

	R2（4月～12月）	R3（1月～12月）	R4（1月～12月）	R5（1月～12月）	R6（1月～12月）	
目標値	18%	31%	55%	77%	85%	
実績値	28.5%	45.5%	68.3%	87.9%		

当該年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった

指標Ⅱ　大阪市立中学校全校に対する来館率

	R2（4月～12月）	R3（1月～12月）	R4（1月～12月）	R5（1月～12月）	R6（1月～12月）	
目標値	4%	15%	22%	24%	25%	
実績値	10.8%	20.8%	22.8%	24.4%		

当該年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

当該事業年度の達成状況について

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽微となり、教育活動も平常化したことから、小中学校の来館は、前年度を上回ることとなった。館内の混雑を防止し、効果的な平和学習の場を提供するため、予約段階で入館人数の制限を行ったが、大阪市立小学校の来館校数は247校、来館率は87.9%、大阪市立中学校の来館校数は31校、来館率は24.4%となった。特に小学校の来館率は、コロナ前水準を大きく上回り、最終目標値に達することとなった。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

小中学校の校外学習の時期は、毎年５、６月及び11月前後に集中しており、効果的な平和学習の場を提供するためには、館内の混雑を防止するため予約段階からの入館人数の制限・調整が必要となる。雨天時や寒い時期などの昼食場所の提供も小中学校にとっては来館を促進するための重要な事項であり、引き続き丁寧な対応を行っていく。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

教育活動が平常化したこと、また小中学校の校長会などへのＰＲ、教員等の研修会を誘致することにより、目標を達成することができたため、自己評価は妥当である。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

教育活動が平常化したこと、また小中学校の校長会などへのＰＲ、教員等の研修会を誘致することにより、中期目標で設定した大阪市立小学校全校に対する来館率77%以上、大阪市立中学校全校に対する来館率24%以上を達成した。小中学校へのＰＲなどを更に強化し、最終年度の目標達成を図られたい。

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況

指標Ⅰ	大阪市立小学校全校に対する来館率											
	R2	中期計画進捗率	R3	中期計画進捗率	R4	中期計画進捗率	R5	中期計画進捗率	R6【最終】	中期計画進捗率		
目標値	18%	21.2%	31%	36.5%	55%	64.7%	77%	90.6%	85%	100%		
実績値	28.5%	33.5%	45.5%	53.5%	68.3%	80.4%	87.9%	103.4%		%		

指標Ⅱ	大阪市立中学校全校に対する来館率											
	R2	中期計画進捗率	R3	中期計画進捗率	R4	中期計画進捗率	R5	中期計画進捗率	R6【最終】	中期計画進捗率		
目標値	4%	16.0%	15%	60.0%	22%	88.0%	24%	96.0%	25%	100%		
実績値	10.8%	43.2%	20.8%	83.2%	22.8%	91.2%	24.4%	97.6%		%		

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

新型コロナウイルス感染症の影響により校外学習が行われにくい状況の中、小中学校校長会などの学校関係者の会議等におけるＰＲ、感染防止の観点からも館内の混雑を防止するため入館人数の制限・調整及び雨天時や寒い時期などの昼食場所の提供など、来館促進のための様々な取組を行った結果、令和２年度から令和５年度までの実績値はすべて目標を上回ることができた。

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

中期計画期間の達成状況について

新型コロナウイルス感染症の影響により毎年度目標値を修正せざるを得ない状況であったが、各年度、それぞれ異なる社会情勢の下でも、適切な感染防止対策を講じ、教育活動の制限状況に応じた様々な対応を取りつつ、必要な来館ＰＲを行ったことで、令和５年度までの実績値が全て目標を上回ることができた。特に、令和５年度の小学校の来館率がコロナ前水準を上回り、最終目標値に達することができたのは、新型コロナの落ち着きと来館ＰＲや様々な対応の両方が重なっての成果であると考える。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

新型コロナウイルス感染症の流行という予期し難い原因により、当初の中期計画の目標値を初年度から見直さざるを得ない状況であったが、各年度の実績値は目標値を達成しており、自己評価は妥当である。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

小中学校の校長会などへのＰＲ、教員等の研修会の誘致の対策を行うことにより、各年度の小中学校の来館率の実績値は目標値を達成しており、中期目標で定める「小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会」を提供することに貢献されていることは評価できる。引き続き、継続して取組の推進に努められたい。

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－２　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

来館した大阪市立の小学校に対してアンケート調査を実施し、「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったのか」という問いに対して、４段階中最上位の「役立った」と回答した割合85%を計画期間中維持するように努める。

年度計画達成状況

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容
ビジュアル面にも重点を置き、分かりやすさに配慮したホームページにリニューアルを行うとともに、博物館、資料館としてのアーカイブ機能の充実を図るため、戦争体験者の証言を撮影、編集したＤＶＤを作成し、広く上映し、貸出等での活用を図り、平和学習としての効果・満足度を高める。また、施設・設備の改修等により見学時の快適性の向上を図る。	当館への来館案内の最も重要なツールであるホームページを４月よりリニューアルするとともに、戦争体験者の証言ＤＶＤを完成させ、８月に館内で上映し、貸出資料にも追加を行った。また、老朽化した屋根や外壁等の改修を行い、施設の快適性を高めた。

指標Ⅰ	来館した大阪市立小学校の平和学習到達度					
	R2（4月～12月）	R3（1月～12月）	R4（1月～12月）	R5（1月～12月）	R6（1月～12月）	
目標値	85%	85%	85%	85%	85%	
実績値	88.9%	93.5%	92.9%	96.4%		

当該年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：（ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(ⅰ)取組は予定どおり実施　（ⅱ)取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

当該事業年度の達成状況について

小中学校の平和学習は、常設展示や特別展示の見学、定時映画の鑑賞、当館が提供するワークシートの完成、折鶴寄贈などのセレモニー実施といった内容が中心であり、そのためには適切な環境で学習できるよう、混雑防止のための入館人数の調整などを行い、また施設面での改善を図って、小中学校にとって学習効果・満足度を高めるための環境づくりに努めた。また、全校に対する学校アンケート等によりそのニーズを把握し、可能なものは取り入れ、96.4%の学校から「平和学習の場として役立った」との回答（＝学校満足度）があった。これは、平素からの取組や対応が高く評価された結果であると認識している。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

次年度以降も、快適に平和学習を行う環境確保に努め、アンケートにより学校のニーズを把握し、実現可能な事項は改善を図り、平和学習の効果や満足度を高めていく。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式１：中期目標⑶」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

ホームページのリニューアル、戦争体験者の証言ＤＶＤの作成、上映などにより、目標を達成することができたため、自己評価は妥当と考える。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

混雑防止のための入館人数の調整など小中学校で学習効果・満足度を高めるための環境づくりに努めたことにより、中期目標で設定した大阪市立小学校全校の平和学習到達度85%以上を達成した。戦争体験者の証言ＤＶＤの作成などのソフト面のほか、老朽化した屋根や外壁等の改修により施設の快適性を高めたことも原因と考えられる。小中学校のニーズの把握に努め、最終年度の目標達成を図られたい。

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況

指標Ⅰ	来館した大阪市立小学校の平和学習到達度											
	R2	中期計画進捗率	R3	中期計画進捗率	R4	中期計画進捗率	R5	中期計画進捗率	R6【最終】	中期計画進捗率		
目標値	85%	－	85%	－	85%	－	85%	－	85%	－		
実績値	88.9%	－	93.5%	－	92.9%	－	96.4%	－		－		

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

計画期間の当初から新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、それぞれの時期に応じた適切な感染防止対策を取りながら、当館における平和学習がより良い環境で行えるように努めた。学校アンケート等により学校のニーズを把握し、寄贈折鶴の掲示台の設置、新しい定時映画の上映開始、戦争体験者の証言ＤＶＤの作成、当館ホームページのリニューアルに加え、トイレ改修などの施設面での改善も図り、当初に設定した最低限クリアすべき平和学習到達度（＝学校満足度）の85%は、全ての年度で達成することができた。

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

中期計画期間の達成状況について

コロナ禍においても適切な感染防止対策と必要な対応を行いながら、施設面での改善も図り、必要な平和学習メニューを提供したことなどにより、小中学校にとって学習効果・満足度を高めるための環境づくりができた結果、令和５年度までの４年間平均の平和学習到達度が約92.9%と高い評価をいただけたと認識している。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式１：中期目標⑶」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

各年度の実績値は目標値を達成しており、自己評価は妥当である。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

ホームページのリニューアルや戦争体験者の証言ＤＶＤの作成など、小中学校にとって学習効果・満足度を高めるための環境づくりに努めた結果、各年度の平和学習到達度の実績値は目標値の達成にとどまらず、右肩上がりの傾向で高まっており、中期目標で定める小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むことに貢献されていることは評価できる。引き続き、継続して取組の推進に努められたい。

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組ー3　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

ピースおおさかの企画事業の参加者に対しアンケート調査を実施し、「今回参加していかがでしたか」という問いに対し、５段階中上位２つの「とてもよかった」「よかった」と回答した割合75%を計画期間中維持するよう努めていく。

年度計画達成状況

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容
次の世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを継承していくため、魅力ある特別展や企画事業等の実施により、その情報発信に努めていく。	次の世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを継承していくため、大阪大空襲の日や終戦記念日など節目の時期に平和祈念事業を３回（終戦の日の事業は台風で中止）、他館等と連携した特別展示を４回実施し、その情報発信に努めた。

指標Ⅰ	来館者満足度					
	R2（4月～12月）	R3（1月～12月）	R4（1月～12月）	R5（1月～12月）	R6（1月～12月）	
目標値	75%	75%	75%	75%	75%	
実績値	81.2%	92.7%	92.2%	90.2%		

当該年度の目標達成状況	a（i）	《達成状況》 a：目標達成：　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

当該事業年度の達成状況について

令和５年度も、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくための取組として、平和祈念事業を３回、特別展を４回実施した。平和祈念事業として、３月には講演会「占領下の大阪・関西 ～焼け跡から復興まで」を、９月にはシンポジウム「平和への責任―エルサレム・神殿の丘をめぐる三つの一神教を事例として」を、12月には「ピースおおさか平和寄席」を行った。（終戦の日は台風により中止）アンケートでは「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合が90.2%と高評価を受けた。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

世界的規模で平和への意識が高まりつつある今日、当財団の役割は益々重要になってくると思われ、そのための魅力ある平和祈念事業や特別展などの取組を行っていく必要がある。平和祈念事業や特別展は、寄附金（平和寄金）を財源としており、引き続き広く寄附金を呼びかけ、これを有効活用しながら、なお一層魅力ある平和祈念事業等の開催に努め、平和の情報発信を行っていく。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式１：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

平和祈念事業や他館等と連携した特別展示などにより、目標を達成することができたため、自己評価は妥当と考える。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくための取組として、祈念講演会や平和寄席などが計画どおりに行われ、終戦の日の事業（平和コンサート）は台風により中止となったが、実施したイベント全てで目標とした来館者満足度75%以上を達成した。最終年度も今年度の成果を継承し、高い満足度のある事業を行われたい。

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況

指標Ⅰ	来館者満足度											
	R2	中期計画進捗率	R3	中期計画進捗率	R4	中期計画進捗率	R5	中期計画進捗率	R6【最終】	中期計画進捗率		
目標値	75%	－	75%	－	75%	－	75%	－	75%	－		
実績値	81.2%	－	92.7%	－	92.2%	－	90.2%	－		－		

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

次の世代に戦争の悲惨さと平和の大切さを継承していくため、毎年度、大阪大空襲の日（３月中旬）、終戦の日（８月15日）、当館開館記念日（９月中旬）、開戦の日（12月上旬）に平和祈念事業を実施するとともに、年間４回程度、他館等とも連携した特別展示を行い、その情報発信に努めた。

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」

中期計画期間の達成状況について

コロナ禍においては、様々な制約があり、困難な状況にも直面したが、そんな状況下でも、創意工夫をして、魅力ある平和祈念事業を実施し、他館等とも連携をした特別展示に継続して取り組んできたことは、大変意義深いことであったと認識している。戦後78年が経過し、戦争体験者が年々減少していく中、また、世界的規模で戦争や紛争が起き、人々の平和に対する意識も高まっている中、当館の存在意義は益々高まっており、今後も引き続き魅力あるこれらの事業を企画し、平和への情報発信に努めていく。

市の審査

中期計画に対する進捗状況【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式１：中期目標⑶」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

各年度の実績値は目標値を達成しており、自己評価は妥当である。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

魅力ある特別展や企画事業等の実施により、各年度の来館者満足度の実績値は目標値を達成していることから、中期目標で定める戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むことに貢献されていることは評価できる。引き続き、継続して取組の推進に努められたい。